

会 議 録

会議の名称	令和6年度第4回茨木市環境審議会
開催日時	令和6年12月20日(月) (午前) 午後) 10時00分 開会 (午前) 午後) 12時00分 閉会
開催場所	茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 7階 会議室1
議長	岩淵 善美
出席者	泉本 幸男、岩淵 善美、大岩 賢悟、金谷 健、狩野 尚美、久米 辰雄、小林 春菜、田中 耕司、前迫 ゆり、山田 俊一【10人】
欠席者	【2人】諏訪 亜紀、野田 宏明
傍聴人	2人
事務局職員	下菌産業環境部長、村上資源循環課長、九鬼環境事業課長、高橋環境政策課長、角野環境政策課課長代理兼指導係長、小河環境政策課政策係長、山下環境政策課推進係長、佐伯環境政策課検査係長、福里環境政策課主査【9人】
開催形態	公開
議題(案件)	(1) (仮称) 第3次茨木市環境基本計画(原案)について
配布資料	(1) (仮称) 第3次茨木市環境基本計画(原案) (2) 令和6年度第3回茨木市環境審議会意見整理表

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>・ 開会</p> <p>本日の出席状況は、委員 12 名のうち 10 名の出席をいただいている。</p>
会長	<p>本日は 10 名の委員の皆さまにご出席いただいております、審議会規則第 3 条第 2 項により本会は成立している。</p> <p>議題に入る。</p> <p>議題(1)、「(仮称) 第 3 次茨木市環境基本計画(原案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・ 議題(1)について</p> <p>「(仮称) 第 3 次茨木市環境基本計画(原案)」の資料 1-46 ページまで説明</p>
会長	<p>事務局より、資料 1-46 ページまでの説明があった。</p> <p>意見交換を 10 時 25 分までとしたい。また、意見交換の時間内で言いそびれた意見等があれば、会議終了後、事務局まで電子メール等にて送付することでお受けしたいが、そのような進行でよいか。</p>
< 異議なし >	
会長	<p>資料 1-46 ページまでの「(仮称) 第 3 次茨木市環境基本計画(原案)」に関しての意見交換をお願いしたい。</p>
前迫委員	<p>5 ページのコラムではウェルビーイングの説明に 1 ページ割いている。しかし、ウェルビーイング自体がコラムに入っているため、ウェルビーイングをめざしているというより言葉の解説になっている。ウェルビーイングを掲げているということは策定の趣旨についての文章を読まないといけないとわからない。例えば、SDGs については SDGs のウェディングケーキモデルが 3 ページに示されているので、この策定の目玉に SDGs を意識しているということがわかるようになっていく。見せ方としてはそのようにしてはどうか。そこはコラムでよいのかということをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>コラムについては、ウェルビーイングという言葉がわかりにくいので始めの方に説明を入れた方がよいというご意見を反映した。先ほどの意</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
前迫委員	<p>見を反映するならば、2、3ページあたりに市がそこをめざしていくという思いが伝わるような文面を追加することが考えられる。</p> <p>追加でウェルビーイングにページを割くことはないと思う。私も一般の方にとってウェルビーイングというのはわかりにくいとコメントした。しかしコラムに入れるとメッセージ性として過小評価になってしまうので、例えばSDGsのウェディングケーキモデルのように図で表すといったコラム以外の示し方がよいと思う。SDGs、ネイチャーポジティブという言葉と関連してウェルビーイングという言葉も何回か使っており、そこでわかりにくいからコラムに入れたという経緯はよくわかるが、これはコラムの外に出してもよいのではないかと思う。この5ページの図は割とわかりやすい。この4つの絡みが人の生活の質の向上に繋がるということを示す矢印があるともっとわかると思う。これが茨木市の改定の大きな目玉になっていると私は理解している。もしそれであればコラムではなくて、図として扱われてもよいのではないかと思う。そこまでウェルビーイングというのに重きを置いているわけではないのであれば、コラムでもよいかなと思うが、ご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>検討させていただく。</p>
前迫委員	<p>45ページにテキストマイニングの分析結果が出ている。ここにテキストマイニングという言葉を入れた方がわかりやすい。この図は、テキストマイニングで分析してあるというのは見る人が見たらわかるが、どういう方法で分析したかがわかるようにしてもよいと思う。</p>
事務局	<p>付け加えさせていただく。</p>
泉本委員	<p>市民の目から見て、この基本計画は、全部通して読もうとすると途中でしんどくなるので、なぜなのか、どうしたらよいかと考えた。この資料はデータが多く、それを説明するという繰り返が多い。第2次計画の達成状況の環境指標のまとめが施策ごとにあるが、それと88～90ページの第3次計画の施策別指標及び目標の表と合わせて、過去と現在と未来をまとめた方が見やすいと思う。それを第3次計画の各施策の最後にくっつけると、どういうふうをめざしていけばよいのかが一目でわかると思う。最後にこの目標を達成できた場合に予想される効果など、大まかな数字や表現でもよいので書かれていると、意義がわかりやすいと思う。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>今すぐできると答えるのは難しい。構成がほとんどでき上がっている段階での大改造になってしまう。構成として、第2章では環境指標に関する個別の項目の現状分析を書いており、第2章の項目、章立ての並びは、第3章では入れ替えている部分もある。そこを一体にさせると、かえってわかりにくいという方が出てくる懸念がある。一旦検討させていただく。</p>
小林委員	<p>先ほどの話の対応案になるが、参照ページが前の方に書いてあると探しやすく、今の構成も大幅に変えなくてもよいと思う。</p>
金谷委員	<p>全体的にとても読みやすくなったという印象。さらに良くするという意味で、2ページにウェルビーイングという言葉が出てくるが、この後に※印か何かでp5参照と書いてあると、読んでいく時に言葉で引っかからないと思った。</p> <p>7ページの図の本計画の位置づけで、茨木市環境基本計画が真ん中にある太い黒枠になっている。ここに少し色をつけたらもっとわかりやすいと思う。全体としては非常にわかりやすい形になっている。</p>
田中委員	<p>コラムの入れ方について、1.1 計画策定・改定の趣旨に循環経済などの言葉があるが、専門でない人が読んでもわからない。循環や経済といった二文字はわかるが、くっつくと途端にわからなくなる。地球温暖化の中でサーキュラーエコノミーが出てきて、それをコラム②で説明している。しかし、コラム③が飛んで後ろにあるので、導入部分で理解してもらおう意味で循環経済や生物多様性といった大事なキーワードの説明はもう少し前のコラム②の後に続けて、先に読んでもらう方がよい。後で出てきた用語は、コラム①を参照、何ページ参照とするとよい。全体的にはすごくよくまとまっているという印象である。</p>
事務局	<p>検討させていただく。</p>
山田委員	<p>2ページには、茨木市の環境基本計画改定の背景、策定・改定の趣旨が記載されている。11ページに記載されている第2次計画で取り組んできた4つの基本施策についてさらに一層推進する第3次計画を立てるといった文章を追加したらどうかと思う。そこに、第3次計画の具体的な目標は何ページ以降に載っているといった記載を付ける。そうすると冒頭で、茨木市が何をめざしているのかがわかるし、読みやすくなると</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
狩野委員	<p>思う。</p> <p>3 ページからは読み取れなかったが、もし茨木市が今回の基本計画でネイチャーポジティブを重要としているなら、コラム②の図にある縦軸についての説明、MDG、SDG、愛知目標、生物多様性枠組、それから右の青の汚染や侵略的外来種などといったわかりにくい用語については説明を載せた方がよい。詳しく知りたいと思った時に助けになる。</p>
事務局	<p>同じページ内に記載できるものについては記載させていただく。用語集の方が適切と思われたものについては、後ろの用語集に追加させていただく。</p>
会長	<p>一つ目の項目についての意見交換は以上とさせていただく。 続いて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(仮称)第3次茨木市環境基本計画(原案)」の資料 47-90 ページまで説明</p>
会長	<p>事務局より、47～90 ページの第4章から第5章の説明があった。 10時50分までを意見交換の時間としたい。それでは、意見交換をお願いします。</p>
山田委員	<p>イラストや写真で非常に工夫されていると思った。重要項目はコラムにされており、非常にわかりやすく見やすい。丁寧に説明していて濃い内容だと思う。この計画書は、環境に興味のある方にとって、教則本的なものになるのではと思う。</p> <p>継続する基本施策(脱炭素、自然環境、資源循環、生活環境)については政府の方針に従ってアップデートした内容にしていただきたい。特に、今重要視されている温暖化防止の低炭素については、地方行政として積極的にできることは省エネの推進と思う。</p> <p>この計画書は10代の子どもから高齢者を対象とし、一般市民に参加していただかないといけない。本案が作られた後、概要版を作成すると思うが、子どもから高齢者に具体的な方法をわかりやすく、専門用語をできるだけ使わずに作成してほしい。温暖化防止についての過去の概要版を拝見した。非常にわかりやすい。そういうものを作成していただき、一般市民の目に触れるようにしないとイケない。他市でしていないが、冊子だけでなく、SNSの時代なのでYouTubeを利用するとよいと思</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>う。検討いただきたい。内容としては非常に濃い原案を作成している。</p> <p>山田委員から意見があった、概要版、情報発信のところについて、事務局の今の考えを教えてください。</p>
事務局	<p>概要版は作成する予定である。できるだけ皆さんに内容をわかっていたら、同じ方向を向いて取り組んでいけるようなものをめざして作りたいと思っている。環境基本計画は作って終わりではなく、これをベースにいろいろなことを行っていく、今後10年間の計画になっている。技術革新など、状況が変化していく部分も考え方に取り入れ、行動についてもそれに合わせていくことが大事だと思う。作ったものをどのよう啓発していくのかについて、これからまた考えていきたい。</p>
田中委員	<p>48 ページの一番大事な環境像と基本施策のイメージ図について、ウェルビーイングという一番めざさなければいけない言葉が小さいので、少し大きくしてほしい。下の施策1、2、3、4が矢印で結ばれているが、1、2、3、4の順番でやらなければいけないと勘違いする可能性もある。5ページのウェルビーイングの図は丸の重なりで表現していたので、できたらそのようにした方がよい。あと、矢印が反時計まわりになっているのも気になる。</p> <p>専門用語だが、65 ページの気象災害という言葉について。気象災害は非常に幅広く定義があってないような話なので、気象災害という言葉を使ってもよいと思うが、できたら用語集の方に茨木市に関わる自然災害について書き加えた方がよいと思う。</p> <p>あと、猛暑日の市民のところの語尾が“します”となっている。これでもよいが、本当にするのかという疑問もある。市民がやることなのか、市が市民に要望することなのか少し曖昧。全体を通して、言葉遣いを工夫されたらと思う。</p> <p>気候変動の防止・軽減という言葉について、例えば、災害予防対策という言い方は地域防災計画でも言っているが、そこにとらわれず、今は軽減という言葉よりは緩和という言葉積極的に使っているのので、“緩和あるいは軽減”という言葉も少し入れた方がよいと思う。上のめざすべき姿では軽減すると書いてあるが、そこも少し気を遣いながら書き直した方が誤解を受けないと思う。</p>
小林委員	<p>先日、茨木市脱炭素プラットフォーム構築に関するワークショップに参加し、非常に勉強になった。そのワークショップでとても重要だと思</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
金谷委員	<p>ったことは、環境とは漠然とした大きなものなので、私たちが生活している中で、このエコの取組をいかに自分の取組としていくかということ。このような計画の内容を実行するために、基本的な行動を考えていくものと理解しているが、92 ページでは計画の管理はこうしていきますと事務的に書かれて終わっている。行政が考える今後に向けたメッセージや思いがあれば、記載があった方が行政も市民と一緒に考えていく姿勢があるということがより伝わる資料になると思う。この冊子に盛り込むべきかどうかはわからないが、そういった締め方をした方が未来に希望が持てるし、一緒に取り組んでいこうという意識になりやすい。</p> <p>後ろの用語集がかなり充実しているので、本文でこの言葉は用語集に説明があることがわかる工夫があればもっとよい。やり方は2つある。一つは出てきた言葉に※印を付ける。ただ、そのやり方は用語がたくさんあるので煩雑になるかもしれない。もう一つは大きな区切りページの末尾に、この言葉とこの言葉は用語集にあると記載すること。どちらかをすると読む人が、この言葉は用語集を見たら意味がわかるのだなということがわかる。これを完璧にやろうとするとすごい数になるので、難しい。用語は今あるぐらいでよいので、用語があるかどうかすぐわかるような仕組み・工夫された方がよりよいと思う。</p> <p>60、68、73 ページにイメージ図がある。一見ほんわかとよいと思うが、何を言いたいのかわからないところもある。例えば60 ページでEVと太陽光パネルがあり、あとは自転車に乗っていて、電車やバスが走っていて、木がある。わからないでもないけどわかりにくい。次のページでは取組が具体的に書いてあるが、これをイメージ図では全部表せない。提案したいのは、イメージ図があった方が柔らかい感じになってよいので、下にタイトルをつけて、右ページの取組との対応で、これとこれをイメージで示しているという記載があった方がよい。全部は無理なので。68 ページも同じ。一番気になるのは73 ページに、ごみ処理施設のところに大きな回収箱があり市民が持ってきて置くという風なイメージ図があるが、茨木市に現実に屋外にあるのか。</p>
事務局	<p>実際にこのような資源物の置き場が屋外にある。搬入口である計量所のわきに、缶・瓶・ペットボトルなどの資源物の持込用に、それぞれ分別しながら資源物を入れる籠を設置している。</p>
金谷委員	<p>雨の場合はどうするのか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	物については毎日回収しているのですが、濡れて放ったままになっている状況ではない。
金谷委員	現実にあるのであれば下に説明があった方がよい。
久米委員	<p>全体に非常に見やすくわかりやすくなっている。63 ページに ZEB とか ZEH という言葉が出ているが、後ろの用語集がわからないような解説になっている。いきなり ZEB とか ZEH とか言われると、エネルギーゼロのコージェネを入れて太陽光パネルを入れてエネルギーゼロにしなくてはいけないように思うが、環境省のホームページを見ると Nearly ZEB (ニアリーゼブ) や ZEB Ready (ゼブレディ) などが書いてあり、25% 省エネや 50% 省エネ、その段階が書いてある。例えば外張り断熱、屋上の遮熱塗料、二重窓枠、それとアルミの窓枠からプラスチックにして伝熱を減らすことだけでもよいと思う。太陽光パネルを家に設置すると省エネになるが簡単にはできない。例えば、二重窓にしても放熱を抑えられる。次の 5 年 10 年を考えると省エネは大事であり、省エネで誰でもできることという ZEB とか ZEH に書かれている施策になる。市民にわかりやすく、そのような行動を推進するような解説を付けてほしい。</p> <p>62 ページで、1 ページかけてデコ活と書いてあるのにデコ活が何なのかわかりにくい。後ろを見ると、脱炭素の推進をするということはあるが、デコ活が大事ということをここでは書いてほしい。今現在、太陽光発電は停滞気味だが、今技術革新がとても進んでいて、ペロブスカイト型で曲げられて窓にも貼れるごく薄型の比較的安いものが出てきている。次の何年間の中でめざすこととして、太陽光発電も技術革新が推進され、用途も広がり低価格になるので、導入推進しやすくなるということを書いてほしい。</p> <p>EV は将来的にトヨタとか日本は全固体電池が進んでいく。それが実用的になり安全性が上がると、一気に EV 化が進む可能性もある。今のままだと、電気自動車もやめてハイブリッドか PHV にしようかなと思う人もいると思う。今の省エネにつながる、EV などの今後 5 年間くらいの技術開発状況を書いてほしい。</p>
前迫委員	62 ページにデコ活の絵があるが、デコ活が何なのか知りたい時に用語集まで辿らないといけない。これは全般に関わることだが、用語集の説明は 2、3 行で書いてあるところが多く説明が短いので、すぐわかるように図の下にキャプションとして付けてもよい。用語全部にやらなくてもよいが、新しい用語が出てきた時には、例えばデコ活とは脱炭素の

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>脱とエコロジーのエコですというだけでもわかりやすいと思うので検討いただきたい。</p> <p>65 ページに気候変動に関して、適応策に今後力を入れようと言われていている。その中の熱中症に対する環境指標でみどりのカーテンが入っている。みどりのカーテンはこれでよいが、緑化推進により脱炭素や気候変動に対応するならば、もうこういうことだけではやっていけない。茨木市の緑地、森やため池で 30by30 の 30 を上げていく。グリーンインフラ・自然環境で脱炭素を実現し、適応策に沿っていくところと関係しているの、ここは検討いただきたい。みどりのカーテンの取組は脱炭素に若干関係すると思う。しかし、強靱な国づくりではないが、茨木市が自然環境をしっかり保全して脱炭素や気候変動に結びつけていくという、そういう記載がほしい。これは施策として、その隣にある自然環境と連携していくのかということところが行政でも悩ましいとは思いますが、みどりのカーテンをして脱炭素をめざすというのはもう弱い。10 年も 20 年も前にみどりのカーテンは流行ったが、これからの 10 年のことなので、もう少し根本的な対策を打ち出した方がよいと思う。</p> <p>次に、70 ページに外来生物について自然環境の生物多様性保全の取組として外来生物についての普及啓発に努めると書いてある。外来種対策はもちろんよいが、特定外来生物という書き込みがない。外来生物全部に対応したら、行政が回らない。特定外来生物について対策するというので、この言葉の使い方を検討していただきたい。</p> <p>自然共生サイトという文言がなかった。自然共生サイトは、今は民間主体だが、来年 4 月以降は行政が積極的に関わって申請しようとしている。30by30 のうち、茨木市はどれぐらいパーセンテージがあるかわからないが、例えば 20 何%だとすると 30%まで上げて自然環境保全していくということを行政として取り組まないといけないようになる。自然共生サイトを積極的に支援する、サポートするという文章がなかったので、生物多様性の保全の中で記載することを検討いただきたい。</p> <p>最後に、72 ページの④に SDGs の位置付けが書かれているが、下は余白になっておりスペーシングが気になる。</p> <p>あと、最初から読んできて最後に SDGs の位置付け、というより SDGs の位置付けは冒頭に持ってきて、④とせず小さくしてもよいので最初に入れた方がよい。</p> <p>余白に関しては現在こちらも気になっている。ある程度固まってきたので、これから調整をしてより見やすくしていく。写真位置や SDGs の表記をどうするのかという点は検討したい。生物多様性に関して、確か</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
前迫委員	<p>に自然共生サイトという言葉は出ていない。それが市の施策としてどういったことができるのかということがあるが、どのような形で掲載できるかは検討させていただく。</p> <p>10年の計画であり、来年からもっと積極的に動くことになると思うので、検討いただき、1行、2行で済むことだと思うのでぜひ入れてほしい。</p>
事務局	<p>具体的に市の方で、どういった場所に入れるのかということを確認していくことが必要になる。それがどこまで入れられるかは今即答できない。</p>
前迫委員	<p>環境省のページにいけば生物多様性増進活動促進法という法制化したことが書いてあり、行政が積極的に関わるということが見てわかる。これはまだ市まで降りてきてないかもしれないが、絶対この10年というか5年の中でやるべきことなので、ご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>検討させていただく。デコ活の説明については追加する。あと、みどりのカーテンを指標に入れているのは、今我々の担当部局の判断で数字が確実に示せる指標としてみどりのカーテンしか案が出てこなかったというのが理由である。自然環境と気候変動の適応策に絡む指標は、実際に今、市の事業で取り組んでいることが自然環境の維持を目的としていないので、意識として結びつきにくく指標として出しにくい。そのような意識のすり合わせをするため、公園や農林、建築系、まちづくりなど各担当部局と集まって話をする場を設け、実際に盛り込めるものがないかと話をしてきた。自然とはそもそも何か、緑とは何を指すかという話を皆でしてイメージの共有をし、茨木市の環境の問題を考えるきっかけになった。しかし、指標として出せるものがなかったため、今回はみどりのカーテンを指標として挙げた。ただ、この計画を展開するときに、今後も部局を跨いで話をし、市が行うことがどのように環境の対策につながっていくのかという認識を持ってもらい、実績として出せるものについては取り入れる。</p>
前迫委員	<p>茨木市だと公園や農林に関係する課が数字を持っていると思う。部局での方針がないと書きにくいと思うが、もう根本的に求められていることである。30by30が2022年に掲げられ、ワンヘルスという言葉もその時に出てきた。実際に基本計画として上がるのは来年の2025年になる</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山田委員	<p>が、茨木市が持っている環境をベースにした適応策がない10年になるのは、非常に寂しく、不足な感じはある。実績がないと書けないが、重要な視点。みどりのカーテンも悪くないが、これで適応策をがんばるといのは少ししんどい。写真はあってもよいが、もう少し根本的なことを書くよう検討いただきたい。</p> <p>環境基本法ができてから何年も経つ。今までに効果があった施策についてはさらに推進し、今の状況を踏まえて茨木市として急いでやるべきこともする。2050年というのはCO₂の排出量を実質ゼロにと言われてるので、これも行政主体で地域を巻き込んでするべきこと。</p> <p>4つの基本施策があるが、いろいろ入り混じっている。一般市民であるこどもから高齢者に意識を植え付け、動機付けをして実践してもらわないといけない。気づかずにやっていることもあるが、新しく行動しようとするとしんどいが、自分も得になる経費節減のためだと行動しようと思う。例えば省エネをすると電気代が少なくなり、国全体として低炭素化につながる。具体的な行動の項目としては10項目から30項目程度を挙げ、市民にとってそれぞれ利点があると記載する。それから、大きな目標として地球全体の問題につながるのだという一つのイメージができるようにしたい。温暖化防止の概要版が非常にわかりやすかったのでもそれをたたき台にしてもらい、今やるべきことや市民に促すことを強調した概要版を作っていたいただきたい。</p>
会長	<p>時間がきたので次の項目について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(仮称)第3次茨木市環境基本計画(原案)」の資料91-123ページまで説明</p>
会長	<p>事務局より、91～123ページの第6章から資料編までの説明があった。11時35分頃までを意見交換の時間としたい。それでは、意見交換をお願いしたい。</p>
小林委員	<p>この冊子自体はPDFなどでどこかで見られるようにするのか。</p>
事務局	<p>ホームページにPDFで公開させていただく。</p>
小林委員	<p>先ほど用語集で、どの言葉が用語集に書かれているのかがわかった方がよいという意見があった。PDFでリンクを貼る機能があるので、ネッ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>トで資料を見るときに検索をする人にとっては、リンクがあれば非常に見やすいと思った。</p> <p>用語がたくさんあり、リンクを貼ったことによって見にくくなったりしないかどうかも含めて検討させていただく。</p>
田中委員	<p>例えば、用語解説にある IPCC について、用語をネットで検索して調べる方法と、冊子を読んで理解するという方法がある。提案として、外部ホームページの URL をここに貼るとさらに深く学べてよいと思う。環境学習という意味でも、そのような配慮をしてもらえるとよい。例えば、学校の先生が環境基本計画をベースに教材を作ろうとした時、また言葉について調べなければいけない。URL を載せてサイトを参照できるようにしておくといった配慮が欲しい。</p>
事務局	<p>見ていただきやすいようにするためその案も考えていたが、計画は 10 年であり、URL が変わってしまう恐れもあると思い、今回は除かせていただいた。</p>
会長	<p>大岩委員、何か意見はあるか。</p>
大岩委員	<p>特に意見はない。</p>
金谷委員	<p>76 ページの資源循環の下の表、家庭系ごみの再資源化の市民の 5 つ目のポップのごみ分別アプリに※印があるが、これは取り忘れたと思う。</p> <p>73 ページの資源循環のイメージ図が、施策の方向性の下にある。先ほどの説明でごみ処理施設のところに、この絵のようなごみを回収する場所があるとわかった。ただ、このことは後の取組の方には具体的に出てこない。全部のイメージ図に関係するが、具体的にここで取り組む施策の中で、例えば市民が取り組みやすい、大事なものをイメージ図にした等が全体で統一されていると、見た人がわかりやすいと思う。例えば、ごみ分別アプリを使って調べているイメージとか、食品ロスをなくそうとしているイメージとかがよい。今のイメージ図は施策の方向性の下にあり、市民はごみを家の近くのごみステーションに持って行くのではなく、ここに持って行ってほしいというふうに見える。80 ページの生活環境のイメージ図で描かれているのは下水道の施設のことなのかなと思うが、これが一体何を言いたいかわからない。後に出てくる施策</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>との関連付けをした方がよい。そうでなければない方がよいと思う。もう一度全部考え直し、イメージ図を入れるのであれば市民が見て意図がわかるようなものを入れた方がよい。読み進める中で、ここで混乱するとかえって意味がないと思う。</p> <p style="padding-left: 40px;">このイラストがどういうことを意図しているのか、イラストでのイメージ図を入れるかどうかも含めて検討させていただく。</p>
久米委員	<p>78 ページのごみ再資源化の推進の現状と課題について、最後の文章に、“ごみ処理施設の効率的な運転及び経費の抑制に努める必要があります”と書かれているので、効率的でない運転をしていると思っていた。しかし、前回の第3回茨木市環境審議会意見整理表の11-9の回答欄を見ると、450トンに対して361トンと80%の処理率で、3炉同時処理を行い、連続運転をしているという、非常に効率的な運転をしている。この言葉があったために、こんなに素晴らしい運転をしているのに、非常に効率悪く運転していると私は錯覚し、もっと効率を上げるのであればセラミックを入れて稼働率を上げなさいとアドバイスをした。ここは現状と課題なので、効率運転に努め、さらに効率を上げるために摂津のごみも受け入れて稼働率を上げているといったような現状のよいところをPRしたほうがよい。ここでは、さらに経費の面でも一層効率を上げるように努めるといった文言にするとともに、電力の回収でいうと近隣の他のごみ処理と比べると非常に高いということもPRしてほしい。市民は知らないと思うので。</p>
会長	<p style="padding-left: 40px;">久米委員がおっしゃる通り、よい取組であれば書いていただくと、市民の方もわかりやすいと思う。</p>
事務局	<p style="padding-left: 40px;">環境衛生センターの焼却施設に係る部分について、記載の方法を検討する。</p>
山田委員	<p>60 ページに脱炭素のイメージ図がある。目を休ませるという意味で効果があり次頁の細かな字を読んでみようとなる。ただ、脱炭素を推進できれば環境が良くなる未来の姿を表現しているものと思うが、もう少しアピールするものを再考していただきたい。68 ページの自然環境のイメージ図についても同様なので再考をお願いしたい。イメージ図を載せるのであれば市がどのように考えているのか一目でわかるようにした方がよい。また、先ほどごみの絵についての話があったが、あれは多分</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
狩野委員	<p>集積所。我々が分別したものが車で集められ処理場に行き、このようにさらに分別して、使えるものについては再利用しているということを表していると思う。しかし、それでは資源回収の全体を表しておらず、市民がしていることが見えてこない。理想の姿のイメージ図はした方がよい。</p> <p>環境指標は、数字で表せるものが指標にしやすいという話があった。主体は市や市民ということから考えると、61 ページに環境指標が5つあるが、“電力使用料”と“温室効果ガス年間排出量”は同じカテゴリーで、“環境フェアの参加人数”は環境行動だったり、環境教育だったりすると思う。“環境フェアの参加人数”を一番下にもってきて、頭の整理のつきやすい並べ方にするとよい。</p> <p>みどりのカーテンの取組件数ではCO₂削減の効果は少ないかもしれないが、環境教育という点ではよいと思う。私は今年の夏、小学校4年生を対象に仲間と環境カルタを行った。カルタの中に壁面緑化という言葉があり、その説明として私の家のヘチマで作ったみどりのカーテンの写真をタブレットで見せたところ、知らなかったというこどもたちや、家の周りによくこれが見られるというこどもがいた。彼らが新しく生活の中でできる環境行動を知る場となった。それから、私は今夏仲間と環境家計簿の普及活動をしており、こども向けプログラムで電気、エアコンの使いすぎに注意しながら、部屋の中の温度を下げるという目的でみどりのカーテンのアピールもした。このような教育面から、身近にできる生活の環境行動につながるので、みどりのカーテンは指標に残していただきたい。</p>
会長	<p>今言っていたところは、86 ページの環境意識、環境教育、環境行動など多岐に渡ってつながっている。また表記の方法等を考慮していただきたい。</p>
事務局	<p>我々は市民の皆様と一緒に小さなことから積み上げ、対応していきたいと常々考えており、皆さんにも参加いただければと思っている。</p>
久米委員	<p>112 ページの COP の解説には、気候変動枠組条約の締約国会議のことだと書いてあるがこれは間違い。生物多様性の国際会議も COP、締約国会議も COP である。生物多様性の COP でウェルビーイングやネイチャーポジティブという言葉が出てきた。用語集全体の解説をもう一度見直してほしい。例えば、クーリングシェルターの解説に、市民が熱中症防止</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>するために茨木市ではクーリングシェルターが、どのような温度で、どのような時に入ることができて、何ヶ所あるなどを書いてほしい。他には、グリーンインフラについての解説も市民からしたら、なんとなくはわかっても具体的にはわからない。もっと簡単な文言にして中学生や小学生でもわかるように、もう一度この用語集全体を見直してほしい。</p>
事務局	<p>内容について、もう一度精査をしていきたい。</p>
会長	<p>時間になったので本日の議題は以上とさせていただきたい。 今後の予定について事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>パブリックコメントは1月27日から2月17日まで実施する。その際、同時に庁内意見募集も実施する。今回の意見を踏まえて修正した原案をパブリックコメントに出す予定としている。スケジュールを考えると非常にタイトで申し訳ないが、この会議で出し切れなかった意見をメールでいただく場合は、来週の12月24日火曜日までにいただきたい。また改めてメールで案内をする。それらの意見と会議でいただいた意見を踏まえて、パブリックコメント前の原案として作成したいと思っている。パブリックコメントの原案は、市のホームページに掲載させていただくと、環境政策課の窓口、市役所の1階の情報ルーム、各図書館で閲覧が可能ということで考えている。意見の募集の方法として、webと郵送、FAX、メール、直接窓口へといった案内を広報1月号に掲載させていただく。パブリックコメントは1月27日に開始で、その前に委員の皆様にはパブリックコメントに出す原案、ご案内をメールでさせていただく。修正に関してはその時点ではもうできない点ご了承ください。</p> <p>第5回の環境審議会が今年度の最終になる。3月24日月曜日午前10時を予定している。議案は、原案に対するパブリックコメントの意見とその対応についてで、答申案を検討いただく場となる。もう一つ議案があり、この計画の年次報告である「いばらきの環境」の令和6年度版を3月の審議会で諮問をさせていただき、こちらも答申案を検討いただきたい。この大きく2点、審議いただく場となっている。スケジュールに関しては以上となる。</p>
会長	<p>本日の会議は以上としたい。 これをもって、令和6年度第4回茨木市環境審議会を閉会する。</p>

議 事 の 経 過

発言者

議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

・ 閉会

以上